

Feeling excited

“Dance with Heart”  
We are burning with enthusiasm  
in creating national art for the new era.

The Kikunokai Dance Troupe  
Chairperson : Michiyo Hata

# 日本のおどり

発行：舞踊集団 菊の会  
〒161-0031  
東京都新宿区西落合 2-21-23  
03-5983-6001 (代表)

菊の会 京都八瀬研修所  
〒601-1254  
京都市左京区八瀬野瀬町 10  
075-712-8701 (代表)

<http://www.kikunokai.co.jp>

Dancing from the heart



「牡丹がさね」

## 寒中御見舞

舞踊集団 菊の会

尾上菊乃里事

代表 畑 道代

お健やかに佳き新春をお迎えの事とお慶び申し上げます。

旧年中は一方ならず御交誼を頂き、誠に有難うございました。

本年も変らぬ御指導御鞭撻を賜ります様お願い申し上げます。

皆様へ支えて頂き、導いて頂いたこの三十五年間が走馬燈の様に

幾重にも思い出され、心から感謝申し上げます次第でございます。

古典舞踊一筋だった私が、菊の会を創立させた事によって総て

が一変し、責任もずっしりと重い立場となって仕事の内容も変化

につぐ変化を遂げてゆきました。

三隅治雄先生には、第一作品目の舞踊劇「おけさ海を行く」そ

して舞踊劇「カッチャ行かねかこの道を」を創って頂き、この

作品で昭和五十一年度文化庁芸術祭で優秀賞を受賞、続いて「藍

の女」「阿国かぶき」にほん大通り」「追分の女」「博多どんたく譚

「土踏・波踏・舞踏」等、大作を次々と公演、良い作品に出逢え

た事は、本当に幸せな事だと思います。

さて、そして今年の秋の作品は北陸を舞台にした「雪の華」

雪国の風流が出来る予定ですので、日本の良さを十分に

出して行きたいと考えています。秋には是非、御覧下さいませ

様お願い申し上げます。

昨年日本舞踊の研究を長年に亘りなされて来た、西形節子先生

(元芸術祭・芸術選奨審査員などを歴任された)の著書「日本舞

踊とともに」(南窓社)が出版されました。その中の最終章には

これからの日本舞踊界を担われる男性舞踊家の代表の三氏との

対談が掲載されています。その中には日本舞踊という言葉が官

庁に認識されていない事や江戸時代から明治、大正、昭和の(戦

前まで)日本の家庭の中で、着物を着る、座る、そしてお辞儀

をする等の美しく気持ちの良い日本人の仕草を日本舞踊を習う

ことで教養として身に付けていった事に触れています。

文化、芸術芸能こそ人間を最も人間たらしめるものとの思いで、  
これからも頑張って参ります。  
今年も一年、何卒よろしくお願ひ申し上げます。



# 代へ新たな出発 性に誇りをもって! 土踏・波踏・舞踏を観て



藤井修治

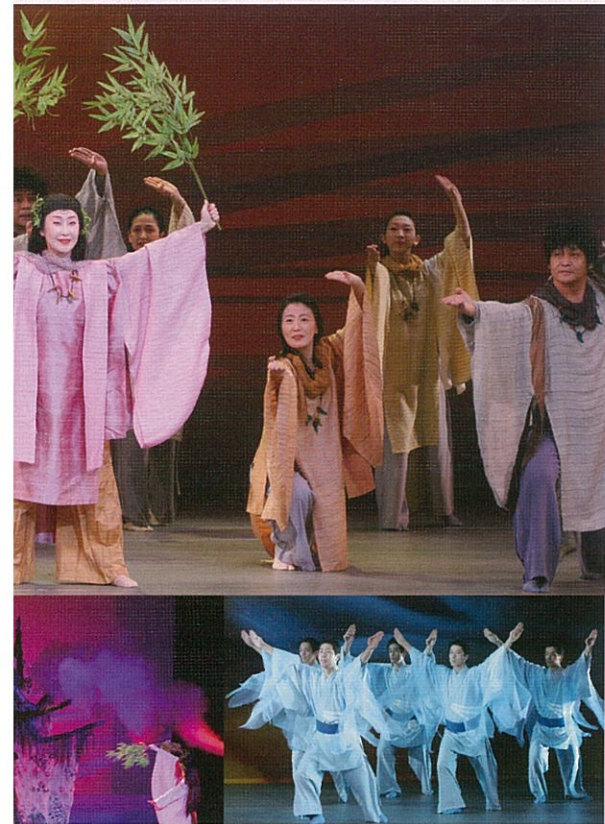
Shuji Fujii

舞踊評論家

この作品は「菊の会」の三十周年を記念して、この会をずっと見守ってきた三隅治雄氏の作を得て、畑道代の舞踊構成・振付で初演されたこと。2007年の「菊の会」三十五周年の再演の舞台を見た。

日本の踊りという一人か二人の舞踊家が古い時代の人物に扮して踊る場面を想起こそすが、この公演は全編に会の志向を強調して群舞を土台にしたスケールの大きいもので、民族舞踊の楽しさや迫力と古典舞踊の様式美を両立させるといふ畑道代とこの会の方向性を示し底力を発揮したものだ。

第一部「土踏」は農村の正月から収穫の祭りまでをゆつたりと描き、第二部「波踏」は漁村の人々の起伏の大きい生活を描く。第三部「舞踏」は天地創造から日本の誕生を描き、神代からの舞踊の存在を証明している。全編が日本を舞台に日本的なのに、地球規模の普遍性を感じさせるのがこの舞台の大きさだろう。かつて洋舞の大舞台で時空を超えた世界があった。しかし新しい洋舞が新奇を競うことで多分にせせこましくなった現在、この公演の大きさは貴重なものといえよう。「土踏・波踏・舞踏」という題名のとおり、人々が舞台を踏みしめ踊るのは日本の踊りの特質である。バレエがトウシューズをはいて、跳躍や回転を多用してひたすら天をめざすことが生む一種の危機感が観客をひきつけるのに対し、この作品



はしっかりと地面を踏むことが基盤となっていて、安心感が支配する舞台が魅力となっている。「菊の会」はたびたびのスタジオ公演で、至近距離での鑑賞に耐えるように緻密に踊るのに慣れていると同時に、こういう劇場公演での巨視的な視線にも耐える大きさ強さを持つている。これは他の舞踊会では見られぬ「菊の会」独自の舞台であり、内容と表現技法が見事に一致したものを、見て、感心しただけでなく感動も覚えたのである。

## 舞踊家の条件

舞踊評論家

佐々木涼子

舞踊家というのは舞踊で一家をなす人、つまり踊って生計を立てる人のことをいうのだと思う。

だとすれば、いまの日本舞踊の世界には、踊りを教えて生計を立てている人はかなりの数いるが、踊ることで身を立てている人はきわめて少ないのではないだろうか。

生計を立てるといふことは、生きるのにどれ位お金を必要とするかということ、それは豊かさや貧しさに関する主観的な感じ方にもよるから、端からとやかく言える筋合いのものではないが、衣食の自給自足が難しい現代、少なくとも他人からお金を受けることなしに一家をなすのは不可能である。

つまり、自分に(唯一)できる踊りという技芸を(舞踊家)のレベルにまで持つていくためには、金銭の額はともかく、少なくとも他人の眼、自分に対する社会というものを骨身にしみて感じる必要があるのではないか。

あるのではないかと。

自分がどう思うか、何が好きか、ということ以前に、他人は自分に何を望んでいるかを考えるのが社会で生きる人間であり、真にプロフェッショナルと言われるに値する人間である。その上で少しづつ、自分が本来望んでいる仕事ができるように、ほんとうの自分を実現できるように努力し、理想に近づいていくべきなのではないだろうか。

自分のためではなく(共演者も含む)他人のために踊る、そういう根拠を据えたら、小さな役でも舞台での強さが変わってくるはず。そして、他の人の眼によって、技芸も磨かれていくはずである。

今の日本舞踊界には、観客からお金を貰うという意識がまったくない人がほとんどのように思う。それでいて、妙に贅沢をひけらかす風潮も見え隠れする。

これではほんものの舞踊家が生まれるのも難しい。



「菊の会」次の時

# 新たな飛翔のとき！日本の舞踊の独自



芸能研究家

北潟喜久

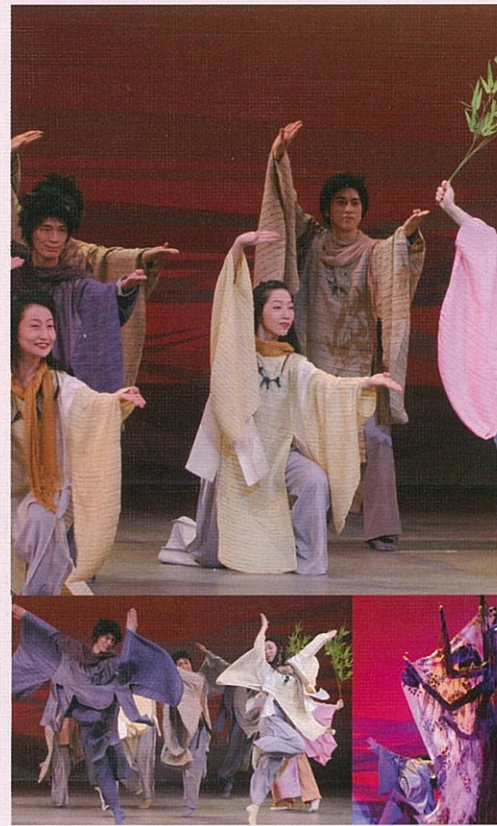
Nobuhisa Kitagata

江戸川区の船堀で「土踏・波踏・舞踏」を拝見しました。この会場で感じたのは、舞台、客席が一体となった、何かアットホームなホンワカとした芸術空間です。丁々発止と演者と観客が火花を散らすような空間もあり、それはそれでいいのですが、菊の会のような、我々日本人の根っこの部分を大切にした芸術活動には、丁々発止を超えたこのホンワカ感がふさわしい気がします。

会場によって空気が違うし、演者のテンションも違います。しかし、ぜひこうあつてほしいものです。

「土踏・波踏・舞踏」は菊の会三十周年のときが初演ですから、ちょうど五年ぶりになります。ずいぶん違った感じがいたしました。若い人たちが、若

い皆さんの成長の跡なのでしょ。畑代表が体調をくずされ、ステージから遠ざかられて、一年あまりになりますが、菊の会は、その禍を福に転じることに成功したようです。代表のいらつしやらない、大きな大きなステージの穴を、皆さんそれぞれが、頑張つて埋めようとしています。それが、とても強いチームワークとなって舞台を引き締めています。幸いなことに、先日お目にかかった代表は、御本復間近かとお見うけいたしました。代表が舞台上に復帰なされば、文字通り画龍点睛（ひとみ）がはいることになり、菊の会は新たな飛翔のときをむかえるでしょう。一日も早い復帰をお待ちするものですが、決して御無理をなさることもありません。若い人たちが、しっかりと頑張つて



大和楽「花しぐれ」



京都大原三千院・・・

と歌われ、愛されているように、大原には誰よりも魅せられています。その大原で、菊乃里さんが「八瀬アトリエ」公演を開かれて、久しい。私にとつては毎秋、鑑賞するのが最高に、楽しみなイベントです。平成十九年の秋、ご

## 菊の会に魅せられて

重里正雄

舞踊評論家

Masao Shigesato

招待され八瀬へ出かけた。ペンネーム畑道代さんの舞踊企画には胸をはずませ、心がいやされる鑑賞の慶びがある。今回も古典では「釣女」が出品され、大和楽「花しぐれ」、菊の会選集「故郷の心を舞う」全九景の総踊り。その構成・振付は畑道代さん、選集のフイナールは美空ひばりのヒット曲「川の流れるように」歌声と共に、男女社中の盛り上がりが見事らしい。その指導・演出力の巧みさには頭が下がります。

その作品のなかにはいつも家元さん（尾上菊之丞）のほほえみが手にとられてさわやか。

常盤津「京人形」(前回の舞台より)



「菊の会」創立三十五周年記念をうたわれた作品だが、実はじつに大きい。

終演後、主宰者の菊乃里さんと雑談を楽しんだが、若さ、芸欲の旺盛さにはまたまた魅せられた。

さらに、明日へ向けてもっと、もっと「菊の会」に大いなる期待、飛躍を誰よりも願っています。



# 35周年の掉尾を飾った明和町公演 群馬県大澤知事から御祝辞

# 「原田直之・日本を謳う・菊の会心を躍る！」 野田市自主文化事業で実現

**創** 立35周年の掉尾を飾る公演を群馬県明和町で開催。大澤正明知事が御祝辞を下さり、御尽力頂いた恩田久明和町町長、石塚一生教育長をはじめ、近隣の市町村からも多くの御来賓をお迎えして晴



れやかに開催された。演目は第一部に長唄「菊の泉」「供奴」常磐津「釣女」そして第二部は菊の会舞踊選集「故郷の心を舞う」で観客と一体となった舞台は多くの人達の心に浸透した。終始全力で運営に関わって下さった方々に紙面をお借りして心から感謝申し上げます。

昨年9月30日、野田市自主文化会館において市文化会館として取り上げて頂き、民謡界の第一人者の原田直之氏と菊の会のジヨイント公演が「原田直之日本を謳う・菊の会心を躍る」と題して行われた。原田直之氏が魅力溢れる歌声で熱唱、菊の会もこれまでの公演と一味違った演出でダイナミックに、時には情緒豊かに舞い、活気溢れる舞台が展開された。名古屋元氏の司会も冴えていた。遠方からも御来賓が駆けつけて下さり盛んに拍手と声援が送られていた。野田市市長 根本崇氏と夫人も終始見守って下さる中、野田市民も心ゆくまで熱気溢れる舞台を堪能した。



見事な桜の木の前で楽屋入り寸前に集った公演メンバー

## COFFEE BREAK

コーヒーブレイク

### 「かけがえのない 出会いから・・・」



平 成4年15歳の私は、初めて菊の会の公演を見ました。作品は「藍の女」で、畑先生演じる主人公「お葉」が唄い踊り、三味線を弾いて一人の女性の生き様を演じ抜いてゆく大作の舞踊劇で、これまで百ステージを越える上演回数誇る代表作の一つです。同時に、私にとって特別な思い出の作品でもありません。当時、私は受験生でそれまで舞踊は勿論、日本的なものに触れる機会はほとんどありませんでした。誘われてこの公演を見て、感動のあまりお願ひして楽屋へ押しかけ、初対面の畑道代先生に握手をして

このように人の心に染み入る日本の文化、その美しさと精神を一つの作品を通してうつつたえる——畑先生と菊の会

成4年15歳の私は、初めて菊の会の公演を見ました。作品は「藍の女」で、畑先生演じる主人公「お葉」が唄い踊り、三味線を弾いて一人の女性の生き様を演じ抜いてゆく大作の舞踊劇で、これまで百ステージを越える上演回数誇る代表作の一つです。同時に、私にとって特別な思い出の作品でもありません。当時、私は受験生でそれまで舞踊は勿論、日本的なものに触れる機会はほとんどありませんでした。誘われてこの公演を見て、感動のあまりお願ひして楽屋へ押しかけ、初対面の畑道代先生に握手をして

このように人の心に染み入る日本の文化、その美しさと精神を一つの作品を通してうつつたえる——畑先生と菊の会

## Information

### 2008年菊の会公演予定

#### 【菊の会新春に舞う】

1月1日(火)～31日(木)九州・別府杉乃井ホテル公演  
スギノイバレス入場料：2000円/中・高校生：1200円  
/小人(4才～小学生)：700円 連日昼13:00/夜20:00開演

#### 【アトリエ公演】～初春を寿ぐ～

1月25日(金) 12:00 / 15:00 / 19:00  
26日(土) 12:00 / 15:00 / 18:00  
27日(日) 12:00 / 15:00  
【全席自由】入場料 4200円(当日 4500円)

#### 【日本のおどり】～春陽に舞う～

3月25日(火) かもりリリオホール  
27日(木) サンティー越谷市民ホール(小)  
28日(金) さわか県民プラザ(柏市)

#### 【友の会総会・懇親パーティー】

5月5日(祝月) 東京會館(丸の内本館)  
11:00 友の会総会  
12:00 友の会懇親パーティー  
皆様のご参加を心からお待ちしております。

#### 次代を担う若者達の舞踏会

#### 【第10回さつき会】

5月25日(日) サンパル荒川

#### 【第34回教室発表会】品川きゅりあん

8月8日(金) 教室発表会・前夜祭  
8月9日(土) 教室発表会



友の会懇親パーティーで、ミッシェル・トマシーニ氏(前駐日ルクセンブルグ大使)より御祝辞を頂く(H19.5.6)



400名の友の会会員で賑わった



友の会小島会長より新役員が紹介された(H19.5.6)

※上記の日程は予定ですのでご確認の上御来場下さい。

■お問い合わせ  
菊の会事務局 03(5983)6001  
京都八瀬研修所 075(712)8701



### 天舞グループ三期生 関口 裕子

【プロフィール】  
15歳より畑道代に師事  
1995年舞踊劇「藍の女」に初出演。  
現在、若手公演メンバーの中核として活躍。